

ザカー（喜捨）



ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・

アッ＝トゥワイジュリー



翻訳者：サイード佐藤

校閲者：ファーティマ佐藤

編集：ムハンマド・サーリフ金子

الزكاة



محمد بن إبراهيم التويجري



ترجمة: سعيد ساتو

مراجعة: فاطمة ساتو

تحرير: محمد صالح كانيكو

目次



ザカー（喜捨）について.....	2
金銀のザカー（喜捨）について.....	5
ザカー（喜捨）の支払い方.....	8
ザカー（喜捨）の使い道.....	10

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

ザカー（喜捨）について



アッラーはそのしもべに多様な形のイバーダ（崇拜行為）を定められました。つまりイバーダにはサラ（礼拝）のように身体に関連したもの、ザカーやサダカ（様々な意味での施し）のように心が欲するところの財産を抛出することに関連したもの、ハッジ（大巡礼）のように身体と金銭に関連したもの、サウム（齋戒）のように自らが欲するものを抑制することに関連したものなどがあります。

アッラーは自らの欲望に打ち克って主に服従するかどうかしもべを試されるべく、そして各自が自らにとってより容易かつ得意なものを行うことが出来るように、これらのイバーダを様々な形にされたのです。

ザカーとは：

元々は成長や増加という意味で、特定の時期に特定の者が特定の財に関して義務付けられるものです。

ザカーはいつ義務付けられたか？

ザカーはマッカにおいて義務付けられましたが、ザカーが課せられる最低法的基準となる数量や財や受給者の種類はヒジュラ暦 2 年にマディーナにおいて定められました。

ザカーの法的位置づけ：

ザカーはシャハーダ¹とサラ（礼拝）に次ぐ、イスラームの5つの基幹の内の3番目です。

❖ アブドッラー・ブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“イスラームは5つ（の基幹）の上に成り立っている：（それらとは）「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー、ワ・アシュハド・アンナ・ムハンマダン・アブドゥフ・ワ・ラスールフ（私は、アッラーの他に真に崇拜すべきものはなく、ムハンマドがそのしもべであり使徒であることを証言する）」というシャハーダと、サラ（礼拝）を行うこと、ザカーを施すこと、ハッジ（大巡礼）、そしてラマダーン月のサウム（齋戒）である。”」

（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²）

ザカーは何によって払うか？

ザカーはその財産自体から抛出しなければなりません。穀物は穀物、羊は羊、貨幣は貨幣によって抛出し、必要性や福利に適わない限りそれ以外の物で代替することは出来ません。

ザカーの対象とはならない類の財産：

住居や衣服、家具や乗り物用の家畜、車など、自分が使用するための所有物としての財産には、ザカーは課されません。

¹ 訳者注：「ラー・イラーハ・イッラッラー、ムハンマドッラズールッラー（アッラーの他に真に崇拜すべきものはなく、ムハンマドはそのアッラーの使徒である）」という信仰告白のこと。

² サヒーフ・アル＝ブハーリー（8）、サヒーフ・ムスリム（16）。文章はムスリムのもの。

ワクフ（財産寄進）のザカー：

モスクや学校など、不特定の者を対象にした慈善的分野におけるワクフには、ザカーは課されません。また同様に、不特定の者を対象にした慈善において使用するためのものに関しても、ザカーは義務付けられません。

但し自分の子息に対するそのように特定の者を対象にしたワクフに関しては、ザカーが義務付けられます。

ザカーの義務対象となる類の財産は 4 種類です：

- 1ー金銭：金銀や貨幣のことです。
- 2ー放牧する家畜：家畜とはラクダ、牛、羊と山羊のことです。
- 3ー大地から産出した物：穀物や果実、鉱物などのことです。
- 4ー商品：商売用の物資のことです。

金銀のザカー（喜捨）について



金にザカーが課される最低法的基準量：

金は 20 ディーナール以上に達したら 2.5%のザカーが義務付けられます。

金 1 ディーナールは重量において 1 ミスカールに相当し、1 ミスカールは現代の測量基準においては 4.25g に相当します。つまり金 20 ディーナールは、85g に相当します。これが金にザカーが課される最低法的基準量となります。

銀にザカーが課される最低法的基準量：

銀は 200 ディルハム以上、あるいは 5 オキヤに達したら、やはり 2.5%のザカーが課されます。

200 ディルハムは重量において 595g に相当します。

貨幣のザカー：

日本円や米ドルなどの現行の貨幣は、法的に金銀と同様に見なされます。ゆえに金銀の価値に換算し、もし金銀いずれかの最低法的基準

に達していればザカーが課されます。そして所有以後 1 年が経過すれば、2.5%のザカーをそこから拋出しなければなりません。

貨幣のザカーの払い方：

銀の最低法的基準量は前述した通り、595g です。それでもしその時点における銀の相場が 1g あたり日本円で 60 円であれば、595g は 35700 円に相当します。つまり銀を基準にすれば、その時点においての日本円における最低法的基準額は 35700 円となります。

また金の最低法的基準量は 85g です。それでもしその時点において金 1g が日本円で 3000 円であれば、金 85g は 255000 円に相当します。つまり金を基準にすれば、その時点においての日本円における最低法的基準額は 255000 円となります。³

そして前述の通り、所有している日本円が金銀いずれかを基準にした最低法的基準額に達し、かつヒジュラ暦で丸 1 年が経過したら 2.5%のザカーを支払います。

ザカーの支払い方には、様々な方法があります：

1—最低法的基準額に達し、かつ 1 年間所有した金銀あるいはそれに類する貨幣を 40 で割れば、それがザカーとして払うべき 2.5%となります：例えばもし 240 万円を 1 年間所有すれば、それを 40 で割った額である 6 万円を支払わなければなりません。

³ 訳者注：他の国に関しても、貨幣のザカーを計算する際には同様の形で最低法的基準額を割り出します。

2—最低法的基準額に達し、かつ1年間所有した金銀あるいはそれに類する貨幣をまず10で割り、更にそれを4で割れば、それがザカーとして払うべき2.5%となります：例えばもし300万円を1年間所有した場合、それを10で割り（30万円）、更に4で割った額である7.5万円を支払います。

使用目的の装飾品に関して：

女性は度を越さない程度にその国の習慣に応じた金銀の装飾品を身に着けることが出来ますが、もしその所有後丸1年が経過し、かつその価値が最低法的基準額に達した場合はザカーを支払う義務が生じます。

もしこの規定を知らなかったゆえ過去にそのザカーを抛出していなかった場合は、その規定を知った時点でザカーを払います。しかしイスラームの法規定はそれを知った上で初めて義務付けられるゆえ、過去に抛出すべきだったザカーは支払う必要がありません。

ダイヤモンドと真珠のザカー：

ダイヤモンドや真珠、あるいはその他の貴金属と呼ばれるものは、装飾品として所有する場合はザカーを課されません。しかしもし商品として所有する場合、所有後1年が経過し、かつ金銀と換算したその価値が最低法的基準額に達していたら、2.5%のザカーを払う義務があります。

最低法的基準額に達しているかどうか算定する際、金銀をまとめて計算することはしません。それぞれ別に算定するようにします。

ザカー（喜捨）の支払い方



ザカーを施されるべき者：

ザカーを施す対象の中で最適な者は、よりタクワー⁴の念が強く、より近縁で、かつよりその必要性がある者です。ゆえに施しの際には親類やタクワーの念の強い者、学徒、慎ましさゆえに物乞いが出来ないような貧者、困窮状態にある大家族など、施しに最もふさわしいと思われる者を探すようにします。

ザカーの分割：

ザカーは本来 1 人に与えるべき物を分割して集団に施すことも出来ますし、またその逆も可能です。最良なのは諸々の福利を考慮しつつ、自らの判断でザカーを内密に、あるいは顕わな形で分割させることでしょう。しかし何らかの福利のためでない限り、本来は内密に行うのが正当な手法です。

ザカーを統治者に支払うこと：

1—宗教を遵守し、ムスリムの福利を守ることに於いて信頼性のある統治者は、富裕層からザカーを徴収し、それをイスラーム法で定められたザカー受給者に分配することが出来ます。またそのような場

⁴ 訳者注：「タクワー」は「自らを守る」という動詞の名詞形。つまりアッラーを畏れ、またそのお怒りと懲罰につながるような行い - つまりかれが命じられたことに反したり、あるいは禁じられた事柄を犯したりすることなどを避けることで、自らの身をアッラーのお怒りや懲罰から守ることを意味します。

合、統治者は家畜や農産物、果実類などの顕現している財産のザカーの徴収のため、徴収人を遣わさなければなりません。というのも全ての者がザカーの義務性を知っているとは限らず、かつ中にはザカーの義務を怠ったり、忘れてしまったりする者もいるからです。

2—もし統治者が富裕層からザカーの拠出を要求した場合、それに従わなければなりません。それによってその者の義務は果たされたことになり、報奨を得ます。そしてその統治者がザカーを用いることにおいて犯すことになるかもしれない罪に関しては、ザカーを拠出した当人は問われません。

ザカーを支払う場所：

ザカーは自分のいる国の貧者に支払うのが最善ですが、何らかの福利や近親関係、差し迫った必要などの理由がある際には別の国に移転させることも可能です。自分で支払うのが最良ですが、別の者に代理を頼んで支払うことも出来ます。

❖ ザカーが課せられる最低法的基準額に達した財産を有する者は、その所有後1年が経過したらザカーを支払わなければなりません。

ザカー（喜捨）の使い道



ザカーを受給する資格のある者：

ザカーを受給することの出来る 8 種の人々は、崇高なるアッラーの御言葉の中で言及されています。以下はその、ザカーの受給資格を有する 8 種類の人々に関する説明です：

- 1-貧者：生活必需品を全く、あるいは不十分な形でしか所有しない者。
- 2-困窮者：生活必需品の大半を所有する者。
- 3-ザカーに携わる者：ザカーの徴収人や管理人、分配人など。もし統治者によってその役職手当を受給している場合は、ザカーは受け取りません。
- 4-ザカーによって心に親愛の念が生まれそうな者：ムスリムであるかどうかを問わず、ザカーを施すことによってイスラームの改宗や悪の回避、あるいはイーマーンやイスラームの強化が望めるような一族の長や、あるいはそれに類する者。目的に沿う程度の量のザカーを施します。

5- 奴隷の解放：つまり奴隷や、ムカーティブなど。またここには戦争捕虜となったムスリムの解放も入ってきます。

6- 借金苦にある者：これには2種類あります：

- ① 争いの仲裁ゆえに債務を負った者⁶：例え富裕者であっても、その債務に応じた分だけ与えられます。
- ② 自ら債務を負った者：債務を負い、それを返済出来ない者。

7- アッラーの道にある者：至高のアッラーの御言葉の興隆ゆえにアッラーの道において戦場で奮闘する者や、布教者などそれと同様の者たちのことです。もし彼らに給与がなかったり、あるいは収入が不十分だったりする場合にはザカーを受給することが出来ます。

8- 旅人：旅に出たきり、自国に戻る手段が無くなってしまったような者。例え富裕者だったとしても、自国に帰れるに十分なだけの不足分を補ってやります。

- ❖ 上記の8種類の者以外は、ザカーの受給を受けることが出来ません。受給の優先権は、よりザカーを必要としている者に属します。
- ❖ ザカーは上記の内から1種類の者だけに集中して配給することも出来ますし、またその必要の範囲内で1人の者に集中して与えることも可能です。しかしザカーの量が沢山ある場合、様々な種類の者たちに分配することが推奨されます。

⁵ 訳者注：主人に奴隷身分から解放してもらうことを条件に、合意した期限までに自ら身代金を支払う約束をした奴隷身分の者。

⁶ 訳者注：例えば財産ゆえに争いを始めようとしている2つの集団を調停する目的で、自ら財産を調達して両者に与えることにより債務を負ってしまうような場合です。

両親や子供、配偶者へのザカー：

1ー両親あるいは祖父母などそれ以上の世代の者、また子供や孫などその後の世代を含む者の内で債務やディヤ（血債）を抱えている者に対しては、ザカーを施すことが出来ます。

2ー債務や贖罪の義務などを抱えている妻に、夫がザカーを施すことは可能です。一方妻は、夫がザカーを受給する資格のある者でない限り、彼にザカーを払うことが出来ません。

ザカーを伝えること：

ザカーを施そうとする者は、もしある者がザカーの受給資格を備えており、かつそれを受け取ることを知っている場合、それがザカーであるということを伝えずに渡すようにします。但しその者にザカー受給の資格があるか、あるいはザカーを受け取るかどうかを知らないような場合には、ザカーであることを伝えるようにします。

—追記—

❖本書では、イスラームの義務の一つにある、ザカー（喜捨）について要点をまとめて紹介しました。更にザカー（喜捨）の内容について詳細をご希望の方は、ウェブサイト：イスラームハウス（日本語）ページをご参照下さい。リンク先 <https://islamhouse.com/ja/main>

イスラームでは個人の財産から、一定量を貧しい人々やそれを必要としている方々に対して与えることが、義務行為の一つとして定められています。それはアラビア語でザカー（喜捨）と呼ばれます。本書では、ムハンマド・イブラーヒーム・アットゥワイジュリー著、*مختصر الفقه الإسلامي* 「イスラーム概論」の中から、そのザカー（喜捨）の内容と規定について分かりやすく紹介しています。本ウェブサイトと併せてご参照ください。

サウジアラビア王国・リヤド・—IslamHouse—